

# 開成の杜

第98号 ●2015年10月6日 ●郡山女子大学大学院 ●郡山女子大学 ●郡山女子大学短期大学部 ●郡山女子大学附属高等学校 ●郡山女子大学附属幼稚園

●発行所／学校法人郡山開成学園 〒963-8503 郡山市開成3丁目25番2号 ☎ 024(932)4848(代) <http://www.koriyama-kgc.ac.jp> ●発行人／学園長 関口 修



風俗美術館



理事長・学園長  
関口 修

## 巡り来た秋に

今年もまた秋に巡り合えた。毎年の事ではあるが秋と云う言葉に安らぎを感じるのは筆者ばかりではあるまい。秋には秋の楽しみがある。実りの喜びを自然の神々に感謝する秋祭り。緑の山々が錦に染められて行く様を愛でる紅葉狩りや、暖かな日差しの中での芋煮会等々の催しが沢山楽しめる。古来、秋の夜長は、虫の音を聞きながらの読書や思索の時を大切にとの教えを尊びたい。春宵一刻値千金とは趣を異にした秋の宵に新たな心境にいたるのも喜びと云えよう。

筆者は最近、国論があまりにも騒々しく、喧しいので、以前に読んだ藤原正彦氏著「国家の品格」に記されていることを思い出した。藤原氏が記した概要は次のようである。「日本の発展は独自の文化によるもので、豊かな教養に裏付けられた道徳や規範が形成されてきたことに他ならない。現代社会の繁栄には経済発展の結果、目先の利益配分に心を奪われる人々が多くなり、国家としての品格を失ってしまった」としている。各種メディアや国会議員各位の言辞は往々に自己中

心的な表現を多用し、普遍的な教養を忘れ、品格の香りが無い虚しさをおぼえる。議論をするには、それに相応しい人間愛が不可欠である。私達の生活は言葉を使う人間としてのコミュニケーション能力によって成り立っている。当然のことながら、自分の思いを伝えるため、相手に理解してもらえ、確かな表現がなければ相手に伝わりづらい。それどころか、相手に不快な思いを抱かせる一方的な会話が散見されることは残念である。言葉を適切に使えるか否かは、その人間にとって、人格そのものであるから疎かにはできない。

人格と云えば、自分の主張を曲げたくないが故に、幾万言をついやし、頑固に自説を主張する人間に出会うことがある。正しかろうが否かに関係なく、自己主張を繰り返す人を観察すると、オモチャ売り場で泣き叫ぶ赤子と評する賢者がいる。そのような人々は筆者の人生で時おり遭遇するが、自己の専門分野には優れていても教養に基づく常識の欠落は甚だしい。其れでも自己自身は正しいと思っているのだから常識の埒外である。

秋の夜長に、言葉を使う人間の道とはどうあるべきか。月明かりや虫の音に教えを乞うた余多の先人の門を訪ねて学びたい。

# 第51回学園教育充実研究会

## 「郡山女子大学ブランドの構築に向けて」

第51回学園教育充実研究会(大学短大・事務局職員の部)が8月28日、本学園建学記念講堂を主会場に開催された。本会は、教職員のための研修大会である。7月31日に高校の部、8月4日に幼稚園の部が実施され、その締めくくりとして本会が開催された次第である。

本年度は、「郡山女子大学ブランドの構築に向けて」というテーマの下、学園教育充実研究会委員会と大学教育改革検討委員会部ランディングワーキンググループ(以下ランディングWG)の共同開催により、各種の研修が行われた。

午前の第1部は、「本学ランディングの現状」と題して、ランディングWGの小松太志准教授・山口猛講師からこれまでのランディング活動の経緯、事前に行われた学内のブランド意識に関するアンケート調査結果が報告された。

午前の第2部は、「ワールドカフェin KGC」と題したグループ討議が行われた。「ワールドカフェ」とは、職位職階を横断したグループで意見交換を行う新しい討議法である。午前の講演を受け「本学のブランドを確立するためにどのような施策が必要なのか」を話し合った。多様な意見に触れることで、教職員一同、現状の課題と今後の方策を再発見する機会となった。

午後は、午前の協議の結果を模造紙にまとめ、発表するというポスター作成ポスター発表のセッションであった。

ポスター作成においては、午前のワールドカフェで出された意見の中から、グループで1つ施策案を選出し模造紙にまとめる作業を行った。「多様な意見をついにまとめることに難しさを感じた」「久しぶりの手作業で新鮮な気持ちになった」などの声が聞かれた。

午後の後半は、全グループが建学記念講堂のホワイエ展示ロビーに集い、作成したポスターを掲示する「ポスター発表」を行った。合計32グループのポスターが一堂に揃い、各々の意見を披露し合った。このセッションにおいては、「本学のブランド構築に有効である」という観点から、各自2点選んで投票するという試みがなされた。会場では、熱心に意見交換をする様子、どのグループに投票するかを真剣に悩む教職員の姿が見られた。

閉会式においては、投票の結果選出された上位3グループの表彰が行われた。3グループの発表タイトルは次の通りである。



▲全体会の様子



▲熱心に討議する教職員



▲アンケート調査を報告する小松准教授(左)と山口講師

▼1位 おしゃれなイングリッシュ・ガーデン大作戦(施設設備グループ③)

▼2位 インターシッププログラムの開発及び実施(就職支援グループ②)

▼3位 人間力の向上こそが就職支援の第一歩(就職支援グループ①)

いずれも、本学の現状の問題を的確

にとらえた魅力的なポスターであった。

最後に、ランディングWGの小松太志准教授から「本研究会を機に、今後一層、本学のブランドを確立すべく活動をしていく」との抱負、学園教育充実研究会委員会の垣花真郎准教授から「教育実践の積み重ねがあつてこそブランドが輝く」との抱負が述べられ、本年度の研究会を締め括った。

### 附属高校 学校見学会 開催

附属高校の平成27年度「学校見学会」が、7月20日、26日の2度にわたって開催され、郡山市内はもとより県内各中学校から中学生、教員、保護者、合わせて402名が本校を訪れた。

全体会は建学記念講堂小ホールにおいて、放送部員松本みさと、上遠野もも、室井愛理の楽しい進行で進められた。最初に八幡文明校長より歓迎の言葉が述べられ、その後、ビデオによる学校紹介が行われた。さらに、北



フーコーの振り子を見学

### 大学・人間生活学科主催 市民講座に多数が参加

大学家政学部・人間生活学科主催の市民講座「暮らしの「ページ」」が7月25日に行われた。

生活総合コースの難波めぐみ先生が「源氏物語に見る生活と色」、福祉コースの泉秀生先生が「郡山のこどもたちの生活実態とその課題」、建築デザインコースの長田城治先生が「《ことは》に秘められた住まいの歴史」探してみよう「建築用語」と題して講演した。会場には多くの市民や学生が詰めかけ、メモを取るなど熱心に聞き入っていた。



熱心に聞き入る受講者の皆さん

### 創学館2階、3階の女子トイレがリニューアル

人間は、1日に5〜7回、計10〜20分間トイレを使用しているが、これを一生に換算すると15万〜20万回となる。

トイレは毎日お世話になっているもの。暮らしの質を高めるにはトイレの空間を変えていくことが大切との趣旨のもと、創学館2階、3階女子トイレのリニューアルをした。施工内容は、和式トイレの洋式化を中心とし、ウォッシュレットの設置とプライバシーに配慮したトイレブースとした。また洗面を一部改装し、パウダーコーナーを設置した。

引き続き62年館3階、4階の女子トイレを年度末までに施工し、順次快適な空間を増やしていく予定。工事期間中はご協力ありがとうございます。



女子トイレのパウダールーム

# 平成28年度入学者選抜実施要項発表

## —大学・短大合同説明会開く—

平成28年度入学者の選抜実施内容等説明会が6月26日開催された。本県はもとより山形、岩手、栃木などから進学指導教諭ら62人が参加した。

関口修学長の挨拶、減免委員会の影山彌委員長が「東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う平成28年度入学者予定者

# —附属高等学校—

## 平成28年度 入試内容説明会

平成28年度郡山女子大学附属高等学校入試内容説明会が、9月11日、建学記念講堂小ホールにおいて開催され、県内各中学校の進路指導関係の先生方が来校した。

午後の5校時目の授業を公開授業とし、日常の附属高校の授業を参観できるようにしたため、中学校の先生方に校舎内を移動しながら各授業を回り、それぞれの中学校の卒業生が授業に参加する姿を見ていただくことができた。

全体会は、関口修学園長が、本学園の教育内容や新たな取り組みについて説明するところから始まり、次いで、八幡文明校長が、高等学校の教育方針や日々の学校生活の様子等について説明した。

その後、佐々木貞子副校長より、普通科・音楽科・美術科・食物科の学科紹介とそれぞれの特性についての説明がなされ、さらに、平成28年度入学者選考要項について

対する新たな授業料減免」について説明。

関口晋入事務部長代理が入試制度を説明した。個別面談では選抜形態にかかわる具体的な対応や取得できる資格、就職状況についての質問があった。また、出身学生との面談会場では、教え子から日常生活や本学の授業などを熱心に質問していた。

の説明もなされた。

そして最後には、山本正典高校事務室長より、本校の授業料や奨学金制度についての説明がなされた。

### 平成28年度入学者選考に関する日程一覧

選考種類	推薦生	特待生	学力選考生
出願期間	平成28年1月7日(木) 8日(金)		平成28年1月7日(木) 8日(金)
選考日	平成28年1月19日(火) 20日(水)		平成28年1月20日(水)
合格発表日	平成28年1月27日(水) 12:00		平成28年1月27日(水) 12:00
入学 手続日	平成28年1月28日(木) ～2月12日(金)		第1次手続き 平成28年2月12日(金)まで 第2次手続き 平成28年3月16日(水)まで

# 平成28年度入学案内概要

◆募集人員  
【大学院】

本大学院は、本大学家政学部人間生活学科及び食物栄養学科を基礎に、人間生活学研究科人間生活学専攻の修士課程(2年)、さらに博士(後期)課程(3年)を設けている。

○人間生活学研究科  
修士課程10名(含昼夜開講制)  
博士(後期)課程3名

【大学】

家政学部人間生活学科40名(生活総合コース10名・建築デザインコース10名・福祉コース20名)。家政学部食物栄養学科80名  
【大学3年次編入】

本大学では、両学科とも3年次への編入を認めている。募集人員は両学科とも各10名。

短期大学、高等専門学校、専修学校専門課程を卒業、修了または見込みが条件であるが、同等以上の学力があると認められた者も出願できる。

【短期大学部】

家政科福祉情報専攻 40名  
家政科食物栄養専攻 120名

すべての説明終了後には、質疑応答の時間を設け、中学校の先生方から、学力生の欠席日数や郵送による出願方法などについての質問が出され、高校側がそれぞれの質問に丁寧に答えた後、説明会を終了した。

今回の説明会を通して、本校が女子校としての伝統を継承しながら、今新たに短大・大学への進学を前提とした基礎的な学力保証に取り組み、学習活動と部活動の両立を図り、活力ある学校へと進化していることがご理解いただけたものと思われる。中高のさらなる連携強化に努めたい。

### 平成28年度 入学者選抜日程

	選抜方法	願書受付期間	選抜日	合否通知発送日	手続き締切日
大 学	指定校推薦生・特待生 公募推薦生Ⅰ期 特別生Ⅰ期	10/16(金)～10/30(金)	11/7(土)	11/13(金)	11/26(木)
	高大連携生	10/16(金)～10/30(金)	11/6(金)	11/13(金)	11/26(木)
	公募推薦生Ⅱ期 特別生Ⅱ期	11/20(金)～12/4(金)	12/12(土)	12/18(金)	1/7(木)
	一般生Ⅰ期	1/8(金)～1/22(金)	1/30(土)	2/5(金)	第1回 2/15(月) 第2回 3/17(木)
	一般生Ⅱ期	2/1(月)～2/15(月)	2/19(金)	2/25(木)	第1回 3/10(木) 第2回 3/17(木)
	一般生Ⅲ期 ※大学のみ	2/16(火)～2/26(金)	3/4(金)	3/9(水)	3/17(木)
短 期 大 学 部	指定校推薦生・特待生 公募推薦生Ⅰ期 特別生Ⅰ期	10/16(金)～10/30(金)	11/7(土)	11/13(金)	11/26(木)
	高大連携生	10/16(金)～10/30(金)	11/6(金)	11/13(金)	11/26(木)
	公募推薦生Ⅱ期 特別生Ⅱ期	11/20(金)～12/4(金)	12/12(土)	12/18(金)	1/7(木)
	一般生Ⅰ期	1/8(金)～1/22(金)	1/30(土)	2/5(金)	第1回 2/15(月) 第2回 3/17(木)
	一般生Ⅱ期	2/1(月)～2/15(月)	2/19(金)	2/25(木)	第1回 3/10(木) 第2回 3/17(木)

ことができる。

10名

◆選抜方法

推薦生(特待生・指定校・公募)特別生(専門総合学科/高等専門/専修学校/社会人/高認合格者/外国人留学生/帰国子女)

高大連携生(本附属高校生)AO生(自己推薦)

一般生(入試センター試験併用可)短期大学の専門教育の基礎の上に、より専門的知識を体系的に学んで、総合的な判断力、豊かな人間性を培う。大学評価・学位授与機構の審査をパスすると「文学士」の学位を得る

◆選抜日程(別項参照)

◆AO生選抜日程 Ⅰ期Ⅱ期募集終了。Ⅲ期は短大のみ実施します。

# 待ってた、待ってた 運動会!

去る9月19日に附属幼稚園の運動会が、学園第一体育館で行われました。

始まる前にはドキドキしながらも「エイエイオー!」と声を出してやる気を前面に見せてくれるお子さんもいました。でも、音楽がかかれば自然と体が動き出して、跳んだり、踊ったり、走ったりを精いっぱい、自分達なりの精いっぱいをお家の方々にお目にかけることができたと思います。

大きい組さんは自分達の演技などの他にも、放送係や、小さい組さんのお世話係など、幼稚園で一番大きいお兄ちゃんやお姉ちゃんとして頑張ってくれました。まだ幼稚園に入っていない小さいお友だちに、その視線の高さまで背を低くしてプレゼントをあげていた姿：優しさがにじみ出ていました。小さな不安を乗り越えて、さらに身も心も大きくなったように見えるお子さん達でした。



可愛いおゆうぎ

## 郡山女子大学附属幼稚園

平成28年度

## 入学願書受付中

◆面接日 10月17日(土)

※試験ではありません。

●**大学／人間生活学科**  
「生活総合コース」「福祉コース」「建築デザインコース」を担当教員が説明した。界面活性剤実験、介護体験、ミニハウスの模型制作などを体験した。



実験を興味深く見学

●**大学／食物栄養学科**  
食物栄養学科の教育方針、アドミツションポリシー、カリキュラムの実際、栄養士と管理栄養士の違いなどについて分かりやすく説明した。



管理栄養士の仕事とは

●**短大／福祉情報専攻**  
「楽々レポートの作成」入学後、すぐに役立つレポートの書き方を学んだ。



レポートの書き方を学ぶ

●**短大／食物栄養専攻**  
糖尿病食、低エネルギーのデザート作りを体験した。参加者は補助学生と食事をしながら懇談した。



糖尿病食などを作る

●**短大／幼児教育学科**  
歌・リズム遊びや切り絵などで遊びを体験した。入試に関する情報提供や在学生との懇談も好評だった。



歌やリズム遊びを体験

●**短大／音楽科**  
授業体験はピアノがエレクトロ、音楽はイタリア歌曲で参加者は音楽科しか体験できない授業に興味を示していた。



ピアノの個人レッスンを体験

●**短大／生活芸術科**  
絵画彫刻デザインCGなどそれぞれの担当者が授業内容や施設設備について説明した。



実習室を見学

●**短大／文化学科**  
「司書になるための学びとは」

というテーマで体験授業が行われた。また、図書館の書庫を自らに見学した。

●**ハンドベルの演奏とミニコンサートで歓迎**  
今年も短大・音楽科によるミニコンサートと、幼児教育学科のハンドベル演奏が行われた。在学生による歓迎のセレモニーに参加者たちは喜んでいった。



高校生にも喜ばれました

●**無料送迎バス「8路線に『いわき泉いわき駅方面』を増設**  
毎年好評のオープンキャンパス無料送迎バスを今年も運行。「米沢方面」「西那須野・黒磯方面」「福島二本松・本宮方面」「喜多方・会津若松・猪苗代方面」「白河・矢吹・須賀川方面」「棚倉・石川方面」「小野・船引・三春方面」に加えて今年から「いわき泉いわき駅方面」が加わり8路線になった。県内外からの入学希望者を乗せたバスはほぼ満席状態になるほどの盛況ぶりだった。

●**バスケットボール**  
1位 3年3組A  
2位 3年1組A  
3位 2年2組A

●**卓球**  
1位 食物科1年  
2位 2年4組A  
3位 1年1組A  
3年2組

●**協会派遣 鈴木 姫ら(高2年)**  
○剣道 成年女子  
監督兼選手/松尾 智美(高校教員)  
○ボウリング 成年女子  
大川内 未来(大・食物1年)

# 特集 私たちの学園

## 本学の魅力にふれる「オープンキャンパス」開催



オープンキャンパスのオリエンテーション

模擬授業に出席し、施設を見学して、直接志望学科の先生方からアドバイスを受けるオープンキャンパスが唯一の機会。近年入学志願者からオープンキャンパスの日程の問い合わせが大学に多く寄せられている。本学では27年度のオープンキャンパスを6月14日、7月11日、9月6日、10月3日、4日の4回実施した。参加者は東北各県や北関東などから合わせて1161人が参加。オリエンテーションでは関口学長が建学の精神や女子高等教育への熱意を語り、本学の人間教育とその概要を理解を深めた。各々が実施した当日の模様を紹介する。

●**バレーボール**  
平成27年度全国高等学校バレーボール選手権  
▽女子選抜グループ戦  
(勝者は決勝トーナメントへ、敗者は敗者復活戦へ)  
郡山女子大附属2-0三重  
▽決勝トーナメント2回戦  
郡山女子大附属0-2進徳女子(広島)

●**ハンドボール**  
平成27年度 全国高等学校総合体育大会  
高松宮杯第66回全日本高等学校ハンドボール選手権大会  
▽2回戦  
郡山女子大学附属27-24浦和実業学園高校(埼玉)  
▽3回戦  
郡山女子大学附属16-37玉野光南高校(岡山)

●**藤沼さんが遠的競技で優勝**  
近畿でも2位に  
—県総体弓道競技—

●**遠的競技**  
▽団体 3位  
個人 1位 藤沼あかね(高2年)  
近畿競技  
▽団体 5位  
個人 2位 藤沼あかね(高2年)  
3位 菅野 未来(高3年)

●**第63回全日本学生弓道選手権大会**  
平成27年8月10日〜13日、名古屋市にある日本ガイシスポーツプラザにて、全国大会が開催された。女子チームは全国から206チーム参加し、女子団体戦が争われた。団体戦は各校3人、一人4射で競技を行い、上位24校が予選通過となる。

本校からは、遠藤ちさと(大学2年)、久保田静佳(短大2年)、金田翔子(大学1年)が選手として、監督として斎藤清楓(大学2年)、介添えとして佐藤咲良(大

●**校内合唱コンクール**  
今年で41回を迎えた附属高校恒例の校内合唱コンクールが6月17日に開かれた。全学年350人、13クラスごとに「友々旅立ちのとき」「花は咲く」「虹」などを次々に披露し、練習の成果を熱演クラスの和を届けた。成績は次の通り。  
▽学校長賞 3年1組  
▽金賞 3年2組  
▽優良賞(各学年1組ずつ)  
第1学年 1年2組  
第2学年 2年4組  
第3学年 3年3組



秋季大会を目指す大学弓道部

●**校内球技大会**  
3種目で熱い戦い  
バレーボール  
1位 食物科2年  
2位 1年3組  
3位 1年1組



学校長賞3年1組

●**一般・手描きの部**  
▽入賞 全国染織連合会賞  
冠本 美音(短大・生芸2年)  
▽入選 橋本 成美(短大・生芸2年)  
●**ジュニア/高校生の部**  
▽京都府知事賞  
岡本 遥子(高3年)  
▽大日本蚕糸会賞会頭賞  
白川 七美(高2年)  
▽金賞  
小野寺 真凜(高3年)

●**第19回全国きものデザインコンクール**  
▽一般・手描きの部  
▽入賞 全国染織連合会賞  
冠本 美音(短大・生芸2年)  
▽入選 橋本 成美(短大・生芸2年)  
●**ジュニア/高校生の部**  
▽京都府知事賞  
岡本 遥子(高3年)  
▽大日本蚕糸会賞会頭賞  
白川 七美(高2年)  
▽金賞  
小野寺 真凜(高3年)

●**第66回県南美術展**  
【青少年奨励】マツダ絵画賞  
高橋 すずね(高3年)  
●**第69回県合唱コンクール**  
▽高校1金賞  
東北支部大会出場(秋田市)  
●**ネパール大地震へ見舞金52000円を届ける**  
大学校友会・短大校友会が各クラ

●**全国大会に出場**  
平成27年度全国高等学校総合体育大会(近畿総体)が大阪府を中心に開催された。本年度も新体操部が5年連続14回目、バレーボール部が2年連続17回目、ハンドボール部が創部3年目で初出場した。



苦しいときこそ明るく前を向く

「苦しいときこそ明るく前を向く」のローガンのもと、28人の選手たちは辛く厳しい練習に耐え、創部3年目で念願のインターハイに初出場することができました。インターハイでは自分達が取り組んできたハンドボールを「楽しく表現する」をテーマに戦いました。初戦となった2回戦では優勝経験もある相手に歩み引かず互角の戦いをするこができて、3点差で勝利し、嬉しい初勝利となりました。残念ながら準々決勝での敗戦となりましたが、全国の舞台でしか得ることのできない経験を今後を生かし、一歩一歩レベルアップしていきたいと思

●**新体操部**  
今年度も地元のジュニアクラブ出身者をメンバーに加え、団体が組める最低人数で練習に取り組みできました。その結果、5月の県大会で団体競技においては、5年連続14回目の県大会優勝を成し遂げ、全国高等学校総合体育大会の出場となりました。全国高等学校総合体育大会では、今年



チームの和!!全員バレー

●**献血に24人が協力**  
開成学園の献血協力が6月17日に行われ、学生や教職員らが授業の合間を利用して積極的に献血し、400mlで18人、200ml6人の計24人が協力した。学園では年2回、献血活動に協力しており、次回は11月4日(水)の予定。

●**定期演奏会で成果を披露**  
—高校 音楽科・合唱部—  
音楽科、合唱部による定期演奏会は本年度も7月20日、建学記念講堂で開催された。  
合唱部のステージでは部員23名が校歌や「未来」など7曲を披露した。合唱部の校内オーディションに合格した9人がトロンボーン、クラリネット、ピアノの独奏やソプラノの独唱を発表した。  
卒業生でピアノの水崎望未さん(福島大学2年)、根本真澄さん(東京芸術大学声楽科4年)が賛助出演し、演奏会に花を添えた。最後に学生と合同の郡山開成学園オーケストラがウェーバーの歌劇「オペラ」を奏でた。  
[依頼職員]  
(8月28日付)  
鈴木 光洋 教務部庶務連携課長  
(9月30日付)  
菅野 英樹 入学事務広報部係長  
[訃報]  
今泉 實さん  
元郡山女子大学就職部長  
6月24日死去 85歳  
ご逝去を悼み心からお悔やみ申し上げます。

学校法人 郡山開成学園

平成26年度 事業報告

一、法人の概要

1) 建学の精神
本学園は、建学の精神「尊敬」「責任」「自由」を教育目標としている。

それは、お互いの個性を尊重し、敬愛できる豊かな人柄を創り他者においてそれを認めること、そして、人間として存在するためには、責任ある行動で社会への自覚を持つこと。つまり、個性を重視し、互いに理解する「個の確立」と「他との協調」をもって、自主自立できる女性としての人間育成を図るのが目的である。

- 法人名 学校法人郡山開成学園
○ 所在地 福島県郡山市開成三丁目25番2号
○ 代表者 理事長 関口修
○ 設置学校名
郡山女子大学大学院
郡山女子大学短期大学部
郡山女子大学附属高等学校
郡山女子大学附属幼稚園
開設：昭和30年4月
○ 学校長名
郡山女子大学
学長 関口修
郡山女子大学短期大学部
学長 関口修
郡山女子大学附属高等学校
校長 八幡 文明
郡山女子大学附属幼稚園
園長 賀門 康博

二、事業の概要(当該年度)

本学の建学の精神である「尊敬・責任・自由」と学園の基本方針である「品位高尚」「秩序儉約」「創造自立」を元に、それぞれの学科・部署において計画した教育・運営に関する事項を実施した。

※教育等実施内容
各部署毎に年度当初に立てた計画に基づき、計画(Plan)、実施(Do)、評価(Check)改善(Act)のPDCAサイクルに従い、教育活動並びに事務活動を行った。

理事会8回開催、評議員会5回開催、監事監査1回実施、会計士監査3回
(5)教職員 表②参照

○在籍数一覧 表①参照
(4)役員・教職員
理事10人・監事2人・評議員22人

表① 院生・学生・生徒・園児在籍総数【1,191人：昨年比57名減】 学則等収容定員【2,509人】 単位:名

Table with columns: 課程名, 在籍数, 入学定員, 在籍学生数 (修1, 修2, 修3, 博1, 博2, 博3, 合計), 収容定員. Rows include 修士課程, 博士課程, 合計.

Table with columns: 学科名, 在籍数, 入学定員, 在籍学生数 (1年次, 2年次, 3年次, 4年次, 合計), 収容定員. Rows include 人間生活学科, 食物栄養学科, 合計.

Table with columns: 学科名, 在籍数, 入学定員, 在籍学生数 (1年次, 2年次, 3年次, 合計), 収容定員. Rows include 普通科, 音楽科, 美術科, 食物科, 合計.

Table with columns: 短期大学部, 学科名, 在籍数, 入学定員, 在籍学生数 (1年次, 2年次, 合計), 収容定員. Rows include 福祉情報, 食物栄養, 幼児教育学科, 生活芸術科, 音楽科, 文化学科, 合計.

Table with columns: 専攻科, 在籍数, 入学定員, 在籍学生数 (24年4月入園児数), 収容定員. Row: 文化学専攻.

Table with columns: 附属幼稚園, 年齢別, 在籍数, 在籍園児数 (男, 女, 合計), 24年4月入園児数, 収容定員. Rows include 3才児, 4才児, 5才児, 合計.

表② 教職員 223名【教育職員154名 事務職員69名】

Table with columns: 学校別, 教員数, 職員数, 非常勤講師, 合計. Rows include 郡山女子大学, 郡山女子大学短期大学部, 郡山女子大学附属高等学校, 郡山女子大学附属幼稚園, 計.

☆福島学習センター出向職員 5名 ☆時間雇用職員 7名

○実施した主な事業
・創立記念日のお集まり
・第60回入園式
・第50回学園教育充実研究会

○その他の実施内容
・秋の遠足、保育参観、お泊り保育、預り保育、延長保育、夏期保育、七夕、はくとわたしのさくひんてん、クリスマス会、おもちつき、節分のおあつまり、お別れ会食、親子パーティー、発表会、園庭整備、父母の講座、KGCマミークラブ、父母会総会、避難訓練(2回実施)

○第26年度国民体育大会 少年女子・新体操 団体出場
○第67回福島県総合体育大会 少年女子・ハンドボール 第1位
○第14回マーチング&パトンステージ全大会出場・優秀賞 講評者特別賞
○第26回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール ピアノ部門 高校生の部 第5位

○実施した主な事業
・第50回学園教育充実研究会(高校の部)
・入学大学・短大「高大連携生」選抜実施
・入学大学・短大「特待生・指定校生・公募推薦生」特別生I期「選抜実施

○その他の実施内容
・秋の遠足、保育参観、お泊り保育、預り保育、延長保育、夏期保育、七夕、はくとわたしのさくひんてん、クリスマス会、おもちつき、節分のおあつまり、お別れ会食、親子パーティー、発表会、園庭整備、父母の講座、KGCマミークラブ、父母会総会、避難訓練(2回実施)

○第26年度国民体育大会 少年女子・新体操 団体出場
○第67回福島県総合体育大会 少年女子・ハンドボール 第1位
○第14回マーチング&パトンステージ全大会出場・優秀賞 講評者特別賞
○第26回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール ピアノ部門 高校生の部 第5位

※平成26年度修了生・卒業生
大学院1名・大学89名・短大219名
専攻科2名・高校93名・幼稚園28名
計432名

○その他の実施内容
・秋の遠足、保育参観、お泊り保育、預り保育、延長保育、夏期保育、七夕、はくとわたしのさくひんてん、クリスマス会、おもちつき、節分のおあつまり、お別れ会食、親子パーティー、発表会、園庭整備、父母の講座、KGCマミークラブ、父母会総会、避難訓練(2回実施)

○その他の実施内容
・秋の遠足、保育参観、お泊り保育、預り保育、延長保育、夏期保育、七夕、はくとわたしのさくひんてん、クリスマス会、おもちつき、節分のおあつまり、お別れ会食、親子パーティー、発表会、園庭整備、父母の講座、KGCマミークラブ、父母会総会、避難訓練(2回実施)

○その他の実施内容
・秋の遠足、保育参観、お泊り保育、預り保育、延長保育、夏期保育、七夕、はくとわたしのさくひんてん、クリスマス会、おもちつき、節分のおあつまり、お別れ会食、親子パーティー、発表会、園庭整備、父母の講座、KGCマミークラブ、父母会総会、避難訓練(2回実施)

○その他の実施内容
・秋の遠足、保育参観、お泊り保育、預り保育、延長保育、夏期保育、七夕、はくとわたしのさくひんてん、クリスマス会、おもちつき、節分のおあつまり、お別れ会食、親子パーティー、発表会、園庭整備、父母の講座、KGCマミークラブ、父母会総会、避難訓練(2回実施)

# 平成26年度 決算報告

学校法人郡山開成学園の平成26年度決算について、東邦監査法人の監査を受け、理事会・評議員会で報告、決定されましたので、その概要をご報告いたします。

平成26年度資金収支計算書において、前年度繰越支払資金を加えた資金収入合計は、4,869,543千円となり、予算より16,703千円上回りました。これは、主として、補助金収入、前受金収入等で見込みを下回りましたが、雑収入、その他の収入等で見込みを上回ったためです。

資金支出は、教育研究経費支出等で見込みを下回りましたが、その他大方の支出で見込みを上回ったため、4,783,642千円となりました。

その結果、次年度繰越支払資金は85,901千円となり、予算より165,860千円減となりました。

平成26年度消費収支計算書において、消費収入合計より消費支出合計が大きいので、当年度消費支出超過額は、841,495千円となっております。

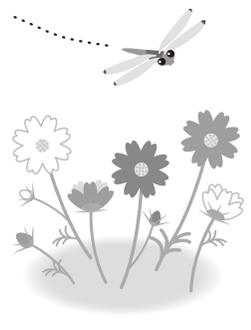
従って、平成26年度の消費収支は、当年度消費収支超過額841,495

千円に、平成25年度決算の繰越消費支出超過額5,755,568千円を加え、翌年度繰越消費支出超過額は、6,597,064千円となりました。

一方、貸借対照表では、資産に関しては、将来に備え、教育、研究、施設等を充実させるため、資金を計画的に積立て、安全で有利な資産運用に努めております。

また、負債に関しては、退職給与引当金の計上、及び次年度授業料等前受金期末未払金等以外には、金融機関等からの借入金もなく、健全な財務状況にあります。

平成26年度末の正味資産は、前年度比599,055千円減少し、8,740,696千円となっております。



補助金収入(国庫補助金収入)が見込みを下回りました。

有価証券買い替えのための売却収入100,000,000円を計上しました。

育英奨学基金引当特定資産からの繰入収入315,420,000円及び前期末未収入金収入229,868,772円が主なものです。

記念講堂の冷暖房設備工事及び創学館等の空調機設備工事の追加によるものです。

長期定期預金作成のための支出1,300,000,000円及び有価証券購入のための支出200,000,000円並びに育英奨学基金引当特定資産への繰入支出228,506,712円を計上しました。

## 1 資金収支計算書

資金収支計算について、その主な内容をご報告いたします。  
平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,015,330,000	1,016,159,200	△ 829,200
手数料収入	19,090,000	18,173,258	916,742
寄付金収入	16,000,000	13,900,000	2,100,000
補助金収入	1,054,110,000	1,040,167,892	13,942,108
国庫補助金収入	685,400,000	668,828,000	16,572,000
地方公共団体(県)補助金収入	365,310,000	367,889,492	△ 2,579,492
地方公共団体(市)補助金収入	3,400,000	3,450,400	△ 50,400
資産運用収入	71,590,000	72,239,278	△ 649,278
資産売却収入	100,100,000	100,000,000	100,000
事業収入	59,400,000	60,485,500	△ 1,085,500
雑収入	185,900,000	205,441,073	△ 19,541,073
前受金収入	323,400,000	296,693,400	26,706,600
その他の収入	431,895,924	641,352,228	△ 209,456,304
資金収入調整勘定	△ 540,000,000	△ 711,092,419	171,092,419
前年度繰越支払資金	2,116,024,076	2,116,024,076	—
資金収入の部 合計	4,852,840,000	4,869,543,486	△ 16,703,486

科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,953,280,000	1,961,120,652	△ 7,840,652
教育研究経費支出	524,969,000	509,840,159	15,128,841
管理経費支出	152,900,000	163,221,796	△ 10,321,796
施設関係支出	265,354,000	396,342,985	△ 130,988,985
設備関係支出	72,481,000	74,570,930	△ 2,089,930
資産運用支出	1,525,810,000	1,728,506,712	△ 202,696,712
その他の支出	153,058,449	156,802,951	△ 3,744,502
予備費	7,900,000	—	7,900,000
資金支出調整勘定	△ 54,674,463	△ 206,763,865	152,089,402
次年度繰越支払資金	251,762,014	85,901,166	165,860,848
資金支出の部 合計	4,852,840,000	4,869,543,486	△ 16,703,486

## 2 消費収支計算書

消費収支計算について、その主な内容をご報告いたします。  
平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	1,015,330,000	1,016,159,200	△ 829,200
手数料	19,090,000	18,173,258	916,742
寄付金	25,200,000	20,727,713	4,472,287
補助金	1,054,110,000	1,040,167,892	13,942,108
国庫補助金	685,400,000	668,828,000	16,572,000
地方公共団体(県)補助金	365,310,000	367,889,492	△ 2,579,492
地方公共団体(市)補助金	3,400,000	3,450,400	△ 50,400
資産運用収入	71,590,000	72,239,278	△ 649,278
資産売却差額	100,000	0	100,000
事業収入	59,400,000	60,485,500	△ 1,085,500
雑収入	185,900,000	214,005,594	△ 28,105,594
繰戻収入合計	2,430,720,000	2,441,958,435	△ 11,238,435
基本金組入額合計	△ 347,835,000	△ 242,439,637	△ 105,395,363
消費収入の部合計	2,082,885,000	2,199,518,798	△ 116,633,798

科目	予算	決算	差異
人件費	1,920,780,000	1,975,048,523	△ 54,268,523
教育研究経費	924,969,000	889,692,927	35,276,073
管理経費	156,200,000	166,438,553	△ 10,238,553
資産処分差額	1,000,000	9,834,330	△ 8,834,330
予備費	1,000,000	—	1,000,000
消費支出の部合計	3,003,949,000	3,041,014,333	△ 37,065,333

当年度消費支出超過額	921,064,000	841,495,535	—
前年度繰越消費支出超過額	5,755,568,581	5,755,568,581	—
翌年度繰越消費支出超過額	6,676,632,581	6,597,064,116	—

記念講堂非構造部材耐震対策105,030,000円及び62年館・芸術館エレベーター棟新設81,028,543円が主なものです。

## 監査報告書

平成27年5月25日  
学校法人 郡山開成学園  
監事 橋本 忠雄  
監事 遠藤 武士

私たちは、学校法人郡山開成学園の監事として、私立学校法第37条第3項に基づいて同学園の平成26年度(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)における財産目録及び計算書類(資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及び附属明細表)を含め、学校法人の業務並びに財産の状況について監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか理事からの業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するなど必要と思われる監査手続を実施しました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録及び計算書類は会計帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務又は財産に不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する事実はないことを確認いたしました。

## 3 貸借対照表

貸借対照表について、その主な内容をご報告いたします。  
平成27年3月31日現在

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	9,802,756,442	8,404,831,957	1,397,924,485
有形固定資産	7,377,285,688	7,274,705,179	102,580,509
土地	2,763,869,930	2,763,869,930	0
建物	3,585,262,813	3,485,300,659	99,962,154
構築物他	1,028,152,945	494,758,395	533,394,550
その他の固定資産	2,425,470,754	1,130,126,778	1,295,343,976
有価証券	600,000,000	500,000,000	100,000,000
長期定期預金	1,300,000,000	0	1,300,000,000
ソフトウェア他	525,470,754	630,126,778	△ 104,656,024
流動資産	462,721,805	2,350,252,528	△ 1,887,530,723
現金預金	85,901,166	2,116,024,076	△ 2,030,122,910
未収入金他	376,820,639	234,228,452	142,592,187
資産の部合計	10,265,478,247	10,755,084,485	△ 489,606,238

科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	1,068,808,104	950,996,673	117,811,431
退職給与引当金	911,490,951	906,127,601	5,363,350
長期未払金	157,317,153	44,869,072	112,448,081
流動負債	455,973,492	464,335,263	△ 8,361,771
授業料等前受金	289,631,500	325,474,700	△ 35,843,200
預り金他	166,341,992	138,860,563	27,481,429
負債の部合計	1,524,781,596	1,415,331,936	109,449,660

科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	15,091,760,767	14,849,321,130	242,439,637
第4号基本金	246,000,000	246,000,000	0
基本金の部合計	15,337,760,767	15,095,321,130	242,439,637

科目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	△ 6,597,064,116	△ 5,755,568,581	△ 841,495,535
消費収支差額の部合計	△ 6,597,064,116	△ 5,755,568,581	△ 841,495,535

科目	本年度末	前年度末	増減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	10,265,478,247	10,755,084,485	△ 489,606,238

正味資産	8,740,696,651	9,339,752,549	△ 599,055,898
減価償却の累計額	7,900,119,492	7,620,016,508	280,102,984

(※正味資産=資産-負債)

## 4 財産目録総括表

財産目録について、その主な内容をご報告いたします。  
平成27年3月31日現在

項目	金額	備考
基本財産	7,400,548,536	
土地	182,438.30 m <sup>2</sup>	2,763,869,930
建物	51,664.57 m <sup>2</sup>	3,585,262,813
構築物	291 点	91,112,864
教育研究用機器備品	12,156 点	434,062,715
その他の機器備品	644 点	7,959,401
図書	156,168 冊	491,872,739
車両	2 台	1,045,226
建設仮勘定		2,100,000
水道施設利用権	0	減価償却累計額 18,765,590
借地権		980,389
電話加入権		2,918,498
ソフトウェア	8 件	19,363,961
運用財産	2,864,929,711	
現金・預金	1,385,901,166	預入先 東邦銀行他2行
有価証券	600,000,000	外国債券
出資金	460,000	郡山信用金庫他
育英奨学基金引当特定資産	501,247,906	
未収入金	372,911,619	退職金財団交付金他
前払金	89,270	
その他の資産	4,319,750	
資産合計	10,265,478,247	
固定負債	1,068,808,104	
退職給与引当金	911,490,951	退職給与に係る見積債務額
長期未払金	157,317,153	
流動負債	455,973,492	
未払金	67,354,836	
前受金	296,693,400	平成27年度生入学金等
預り金	91,925,256	
負債合計	1,524,781,596	
差引正味財産	8,740,696,651	

### 祝入学・第188回芸術鑑賞講座 小川典子ピアノリサイタル

祝・入学第188回芸術鑑賞講座は、英国や日本を拠点に世界各国で演奏旅行に活躍中の小川典子さんを迎えてのリサイタル。6月24日の本学・建学記念講堂大ホールはしんと静まりかえり、小川さんの華麗な音色に酔いしれた。

この日のプログラムはラヴェル「亡き王女のためのパヴァーヌ」「悲しい鳥」、ベートーヴェン「ピアノ・ソナタ第23番『熱情』」、ドビッシ「アラベスク」重麻色の髪乙女など9曲。鍵盤に向かった小川さんは、時には大胆に時には軽やかに名曲を披露し、入学を祝った。



### 第189回芸術鑑賞講座 沖仁フラメンコギター

学園創立当初から感動の教育として実施してきた芸術鑑賞講座は、7月10日、第189回を数えた。

この日は沖仁さんのフラメンコギターコンサート。沖さんは長野県生まれ。14歳でエレキギターを始め、高校卒業後にカナダでクラシックギターを。その後スペインのアンダルシア地方などに住み、地元住民の輪に入って3年半、フラメンコギターを学び帰国。2010年7月、スペインで開かれた第5回ムルシアニューニヨリカルドギター国際コンクールで、日本人で初めて優勝した。プレリア・タンゴ・カシエラなど9曲を演奏し、会場内は感動の渦に包まれた。沖さんの熱のこもった演奏に、盛んな拍手が贈られた。



### ミスうねめに本学から 2人選ばれる

商都郡山市の夏のビッグイベント「郡山うねめ祭り」に花を添える「第51代ミスうねめ」に、大学食物栄養学科3年千葉薫さんと、短大・幼児教育学科1年佐藤朋美さんの2人が選ばれ、主役として祭りを盛り上げた。うねめ祭り終了後は「ミス郡山」として、観光物産キャンペーンや姉妹都市など県外への親善訪問などをを行い、郡山市の魅力を全国に発信する。

### 生ごみ減量！減るしい レシピコンクール

- ▽優秀賞 菊地 未来(高校2年)
- 浅倉 冴美(高校3年)
- ▽佳作 伊野 秀美(高校1年)
- 坂本 美咲(高校1年)
- 武藤 美石(高校1年)
- 桑名 茉莉(高校2年)
- 本多 珠梨(高校2年)



### 郡山歯科医師会に シンボルマークを贈る ―短大・生芸の西宮さんら

郡山歯科医師会から、短大生活芸術科に依頼されたシンボルマーク、野球帽、缶バッチ用のデザインが決まり、本学で贈呈式が行われた。同会は平成23年4月に一般社団法人格を取得したのを機に本学・短大

### うねめ踊り流しコンクール 準大賞 受賞 過去最高の659人が参加

郡山市の夏を彩る第51回郡山うねめ祭りのメイン行事「うねめ踊り流し」には延べ47団体、3000人が参加し、8月7日・8日、郡山駅前などで行われた。

3年連続大賞を目指した郡山女子大学／短期大学部／附属高校／附属幼稚園は準大賞を受賞した。学園からは過去最高の659人が参加。軽快な踊りを披露し、観客から大きな声援が送られた。

また、個人の部でも大河原礼音さん(短・音楽)、林天音さん(高1)2人が選ばれた。



来年は大賞を!

### 家庭寮で七夕会開催

短冊に願いを込め、今年も若竹に七夕飾りを行った。短冊には、「就職試験に合格できますように」「テストで良い点が取れますように」などの時勢を反映した願いや、家族の健康を願うもの等、様々な願いが記されていた。

この七夕会は、家庭寮年中行事のひとつであり、天井に届く若竹には短冊以外にも寮生手作りの笹飾りがあり、寮内はいつも以上に華やかだった。



思いの願いを込めて



### 紙上美術展77

### 「青磁アフガン 風物文花瓶」

みうら こへい  
三浦小平二



新潟県佐渡市出身。1955年東京芸術大学美術学部彫刻学科を卒業後、青磁の伝統技法を学ぶ。新日展や現代日本陶芸展での朝日新聞社賞をはじめ、数々の賞を受賞。東京芸術大学助教授、教授、名誉教授に就任し、紫綬褒章を受章した。

### 木もれ陽

「実るほど頭を垂れる稲穂かな」。車を走らせると、田園はすっかり黄金色で、豊かに実った穂が柔らかな風になびいていた。新米が待ち遠しい季節である。

炊き立ての真っ白いご飯、その香りと艶やかさ、ほのかな甘味に自然と笑みが浮かぶ。日本人にとって、新米ほど美味しいものはない。

古来から、米は日本人の主食であり続ける。洋皿は何の抵抗もなく使い回すが、ご飯茶碗は個々の器が決まっいて共有することはない。私たち日本人は、米という穀物に、ある種、特別な想いを抱いている。日本人にとっての米は、靈魂を再生させる特別な力を秘めたものであった。

携帯食のお結びは、ふわっと空気を

を入れて結ぶのがコツ。手作りの温もりを染しむことができる。結びの語源については、「むす」は「産」「び」は「神霊」の意の「産霊」で、これは「陰と陽とが相集まって新しいものを創造することである。昔の人々は結びの姿に神秘と脅威を感じ、また結び目に自分の生命(魂)を分割して結び込めることによって長寿を願ったとのこと。おにぎり派、おむすび派、意見は分かれるところだが、筆者はあえて「御結美」と呼びたい。昔ながらの梅干し入りの御結美。この文化が、携帯食として末代続くことを願う。

郷愁にかられる田園風景。五穀豊穰を感謝する祭りも間もなくである。(節)